万歳書続実記 (三)

近代山城地域における一農家記録

一、万歳書続実記解題

二、凡例 三、万歳書続実記 巻一(明治元~明治一九年) ※以上 七七号

五、万歳書続実記 巻二(明治二八~大正四年) ※本号四、万歳書続実記 巻二(明治二〇~明治二八年)※七八号 ※本号で完結。凡例は七七号に掲載。

五、万歳書続実記 巻二 (明治二九~大正四年)

(表紙)

明治弐拾九年一月吉日

万歳書続実記 巻弐

水主村

木村氏 」

奥本成西 田村田村 以希雅 在代史卓

| | 三月十二日売 | | 七月十日売 | 同廿八日 | | 五月一日売 | |
|-----------|--------|---------------------|-----------------------------|----------------------------|--------------------------|------------------------------|-------|
| 一参拾壱円八拾四銭 | 〃参拾参円 | 〃参拾参円七拾八銭 | 〃参拾八円六拾銭 | 〃弐拾六円五拾四銭 | 〃百○四円拾銭 | 金百五拾六円九拾六銭六厘 | 作物売上高 |
| 壱箱付 金五拾壱銭 | 長芋弐十荷代 | 壱荷ニ付 九拾三銭八厘サツマ芋三十六荷 | 一本二付 七円二十銭 二番茶九正味二十四貫九百目 | 一本ニ付 拾六円カへ 玉露九正ミ八貫〇二十五目 | を本二付 九円カへ 選茶九正味六十二貫九百四拾目 | 此平斤直段 九円六十銭 米拾六石八斗四升 壱石二付 | 作物相場 |
| | | | 金七拾七円五拾九銭也合計 | 二十二荷代 | 〃五円五拾九銭 糞 | 壱貫五百目 百二十玉金七拾弐円 油粕 | 糞 元 |

| リ 南 年 ラ サ ナ | 同 三 三 万 下 万 申 が が が か が か が か が か が か が か が か か が か | | | | 南三年塞リ |
|-------------------------|---|------|--------|----------|------------|
| 合計 〆金四百六拾三円八拾弐銭六厘 | 金五拾銭 | 金壱円 | 一九円参拾銭 | 一六円弐拾銭 | 一弐拾弐円 |
| | 豆代 | ムカゴ代 | 西瓜 | 白麦壱石代 | を貫二付 三円二拾銭 |
| | | | | 〆拾九石六斗ナリ | 餅米壱石三斗 |

本年ハ昔ノ大塩騒動ノ凶作年及ビ飢饉三百目年ニ当リ、 小判咥テ飢へ死スル者数知レズ、其廻リ年故心配致候処、 不図

本年ハ丙申ノ六拾壱年目大水害度々、 然ルニ此困難ヲ書残シテ後日ノ心得トス

「米拾円七拾銭 此時木津川上湯船、笠祇村ノ大荒、家屋八軒及ヒ納屋七棟流失致シ、愍ム可キ次第ナリ 明治弐拾九年七月十七日大雨降リ木津川大洪水トナリ、 其側量壱丈五尺ナリ、然レ共我地方農作物別段ノ損害モナシ、(゚ピ)

相場

お出シ、銘々起キ出デ人家ノ保護致シ、之ガ為メ屋根瓦ノ破損ハ家並ノ事ナリ、然ルニ其倒レ家我村内ハ吉川音吉、 九月三十一日二百十日ノ尼日ナリ、其日午後三時頃ヨリ東風吹キ出シ、段々烈シキ相成、(・▽・▽) 同日十時頃ヨリ益々烈シキ吹

岡甚太郎、斉藤治右衛門、 伊原良蔵ノ四軒ナリ

果十二時頃ヨリ木津川大洪水ニナリ、其側量弐丈五寸、銘々驚キ堤坊へ掛附尽力致シテ保護ス、况哉堤坊破壊スルヤ否(タッ) 不図キ九月六日大雨降リ続キ、 哉ノ堺ニテ、人家諸道具ノ片附ノ取掛リ騒動也、之ヨリ大ナル心配ハナシ、然ル処漸ク九月一日午后六時頃ニ減水ス、(トン) 木津川壱丈三尺ノ洪水トナリ、益々大雨降リ出シ、 明ル八日木津川大洪水トナリ、其側

午後五時頃ヨリ壱丈七尺五寸ノ洪水トナリ、 頃ヨリ減水致シ同日五時壱丈三尺トナリ、 ニナリ、九日朝壱丈三尺トナリ、明ル十日至テモ未タ壱丈ノ水ナリ、然ルトモ最是丈ケ減水トナラハ安心ト存、 甚タ当惑致シ無二無三ニ歩ケ走リ、 量弐丈壱尺トナリ、 銘々驚キ堤坊今ヤ危嶮ト存覚悟ト致シ、 (※) 銘々家屋諸道具取片附、 銘々喜コビ心痛モ有リシ故保護人足引取タリ、 堤坊崩レ所今ヤ危嶮ト存尽力旁致候処、 此困難謂フニ忍ザルナリ、 然ル処我村堤坊才□及ビ大将軍ノ危キ崩レ所弐箇所出 幸イニ無難ニ明ル十一日午前 然ル処漸々午後七時頃ヨリ引口 昔ヨリ四日間モ引続キシ大洪 又十日

木津川筋堤坊破壊ノ場所加茂村、山本村、多賀村、薪村ナリ

水ハ此始メナリ

謂フニ堪ザル可シ 此時佐山村ヨリ下水難、 ノ損 此ニ付内水ノ損害謂フニ忍ザルナリ、 此時水損加茂村五千円ノ損害ナリ、 、ナリ、 宇治川ニテハ破壊ノ場所槙鳴村、 西京東寺迄一面ノ白海ナリ、 同山本村七千円ノ損害ナリ、多賀村壱万円ノ損害ナリ、 我只筆ヲ捨テ嘆ニ絶フ可シ、 小倉村、 然ルニ銘々学校寺院走リ附又ハ二階へ昇リ断々日ヲ送リ、 市田堤坊ノ三箇所ナリ、 然レトモ佐山村ヨリ下御牧郷村ノ損害壱百五拾万円 此時伏見観月橋両ハシ水漬リナリ 薪村五千円ノ損害ナリ 此困難

ナリ、 此水害ノ為学校生徒出勤致兼、 安田村ノ学校ノ棟迄水漬リナリ、 水害ノ為メ天皇陛下ヨリ右水害場所へ救恤義捐金下給リ、 猶ヲ又殆ト右害ヲ遁レ、 寺田村ヨリ百三拾円ノ義捐金致シ及富野庄村ヨリモ百七拾円ノ義捐致サレタリ 謂所生徒ノ書籍水漬リ旁破損致シ、生徒教育致兼、 九月三十日ヨリ以来御牧郷村ノ水害十一月半頃迄水漬リナリ、 及ヒ各町村有志者モ救助義捐金致サレシ、 又我村内ヨリ生徒教育料トシテ金四 此困難嘆ニ絶ユ可 然ル処我モ同郡

然ル処他町村及京都地方ヨリ義捐金壱戸ニ付凡金拾円宛裡々貰ハレタリ

拾円義捐致シ

謂所大坂有志者ヨリ救助致サレタリ 此洪水ニ付下川 ノ破壊場所山崎、 広瀬、 株巻、 土斉、 前嶋、 スイタノ六箇所也、 之ガ為摂州ヨリ弥麻迄 面 ノ白海ナリ、

V 此 |時丹波国何鹿郡福知山町大洪水ニテ堤坊破壊致シ、 死去人六百五拾人ナリ、 怪我人八拾人 其大荒我筆ヲ捨テ嘆セズンバ非ズ、 建家、 土蔵、 納屋千六百戸

丁酉 「明治三十年

美濃国水害も同様ノ事ナリ 伊勢国桑名辺ノ水害モ同様ノ事

| | <u> </u> | <u> </u> | <u> </u> | _ + | 1) — | |
|------------------------|-----------------|-------------------------------|-------------|--------------------------|--------------------|-------|
| 〃四拾五円○九銭五厘 | 〃 四拾四円七拾四銭七厘 | 〃参拾円弐拾七銭 | ^ 四拾七円五拾銭 | 〃百○壱円参拾七銭 | 金百八拾壱円八十銭 | 作物売上高 |
| 壱荷ニ付 金九拾七銭 サツマ芋四十七荷半 | 壱荷二付 金弐円 長芋二拾三荷 | 壱本二付 金七円二十銭 二番茶九正味十九貫六百七十目 | 玉露九正ミ拾四貫五百目 | 売本ニ付 金拾円かへ 売本ニ付 金拾円かへ | 此平斤直段金拾壱円四十銭米拾六石五斗 | 作物相場 |
| メ (8州田) | | | / 七拾円○三拾壱銭 | 一 七円三十壱銭 糞二十六荷半 | 金六拾三円 油粕 | 糞元相場 |

天皇陛下ヨリ救助義捐金五千円御下ケ相成、各有志者モ義捐致サレタリ

近江国ノ水害モ同断ノ事、両陛下ヨリ壱万円ノ救助義捐御下ケ相成、有志者ヨリモ義捐致サレタリ

| 合計 /金五百〇六円五拾参銭 | 一〃四円五拾五銭 | 一〃壱円六拾三銭五厘 ・ | 一〃壱円弐拾五銭 一升二付 金八銭三厘 対二十石 外元十石 大豆一斗五升代 米拾八石五斗 | 一ヶ拾壱円五拾銭 此直段 三十五円かへ 内手作米上リ高蚕三貫五百目 | 一 / 拾五円 | 一/ 弐拾円〇八拾弐銭 壱箱二付 金六拾五銭二厘 |
|----------------|----------|--------------|--|-----------------------------------|---------|--------------------------|
| | | コヾ米壱石五斗 | 学二十石米拾八石五斗 | 内手作米上リ高 | | |

中ノ間ニ少シノ雷モナリ暖タカノ旬季ナリ 本年一月四日ヨリ十五日マデ七日ノ間雨降リツヾキ、大寒ノ入ニアリシニ少シ暖カナリ、卅一日ヨリ大雨降リツヾキ寒

六月十日頃ヨリ大旱打ヅ、キ農民昼夜田ニ水入ニ懸リ、同月廿九日迄大旱ナリ、喧嘩口論スル者間々アリ、則チ三十一 二月ハ通常ノ旬季ナリ、三月ハ雨多シ、四月モ雨多シ、五月ハ通常ノ旬季ナリ

度

「明治三十一

年

作物売上高

金弐百七拾円九拾五銭七厘

年内相場

此平斤直段壱石ニ付

米十八石四斗七升

金拾五円

糞二十五荷代

金七円十四銭

糞元相場

作物相場

此米高ハ神武天皇即位ヨリ今ガ始メナリ、

本年ハ虫害ハ日本全国一統ノ虫ナリ、其虫害ニ因テ日本平斤ヲ見ルト通常年トハ六分作、

会シ、小作上納減額スル哉否ヤヲ地主へ依頼ニナリ、 互ニ示談ノ上相応ノ減少致サレタリ 然ルニ最早秋ニ相成リ其虫害ノタメ米作甚タ悪シ、農民驚キ田壱反歩ノ米作弐石前後ナリ、

泣々□シキ相成各小作人集

色々ト虫害ノ防ヲ致サレタリ

其燥キ因テ各村農民田ノ虫害甚ジ、鷲キ村々協儀ノ上田ノ中へ種油及ビ石炭油ヲ入レ、又ハ松明ニテ虫送リスル村モア

九月ノ月中ニタ、三日ノ晴天ナリ、然ルニ雨天ニ因テ又廿九日木津川洪水トナリ其側量壱丈五尺ナリ

九月七日大雨降リヅ、キ、八日午前五時頃ヨリ木津川大洪水トナリ其側量壱丈五尺ノ水ナリ、然レトモ風ハ少シモナシ

十月二至テハ風モナシ雨モナシ、唯々燥ノ已ニテ善キ順季ナリ

此凶作ノタメ米直段拾参円ナ

此米高ニテ余程時節悪シキニナリ

然ト雖モ寺田村及水主ハ田植ノ早サニ因テ他ノ村トハ余裡ノ豊作ナリ、 南山城ノ内デモ当村ト相楽郡瓶原村トナリ

十一月二至テ晴天ニテ余裡暖タカナリ

十二月モ晴天ニテ寒季厳シキナリ

悦ス

七月十五日ヨリ大雨降リ如何ト存シタリシニ、 日大雨フリ農民喜ビ其ノ雨喜ビノ休日二日間、

同月廿日ヨリ至極善キ順季ナリ、 又追々ト善キ順季ヅ、キナリ

八月二至テモ益々旬季ヨロシク農民喜

″ 五円 " 〃参拾七円三拾九銭 〃弐拾壱円 〃参拾壱円 〃百拾円○六拾七銭壱厘 〃壱円拾銭 〃弐円三十八銭 〃参拾三円参拾三銭九厘 〃弐拾参円拾七銭六厘 五円 梨子五十三箱 平斤金壱本ニ付 二番茶九正ミ十四貫二百五十目 (新R) 玉露九正ミ十二貫目、荒茶十三円 壱本ニ付 ムカゴ四斗代 大豆三斗四升〇 壱石三十五円かへ 繭壱貫五百目代 西瓜二十五玉代 一ツ二十銭 壱荷ニ付 サツマ芋五十三荷半 壱荷ニ付 長芋二十二荷代 煎茶九正ミ六十二貫百六十目 金九円 金九拾銭 金七拾銭 壱箱ニ付金六十三銭割 八円也 壱升ニ付七文 手作米弐十石〇七斗 合計メ コベメ八斗 〆弐拾弐石三斗 餅米壱石六斗 金七拾二円拾四銭 金六拾五円 油粕百玉代

合計 〃弐円九拾七銭 メ金五百四拾五円三銭四厘 壱石ニ付 白麦二斗壱升 金十四円カヘ

三十一年一月元日、二日大雨降リ〇六日大雪フリ、 又十五日大雪フリ、 廿四日、 五日又大雪降リ、 廿八日大雨降リ又カ

二月雨多シ

ミナリナリ、甚タ不旬ナリ

三月モ雨多シ、此不旬又ハ卅年ノウンカ虫ノタメ国中凶作、米直段拾六円ニナリ

然トモ梅、桃々、梨子ノ類ハ別ニ害ナシ、五月モ通常ノ旬気ナリ、六月ニ至テ通常ノ旬気ナレトモ田ニ虫害甚シ、農民 四月ニ至テ天気打続キ、不図十五日ヨリ三日間大霜降リ、又廿三日ノ朝大霜フリ、 コレガ為メ茶、桑ノ芽皆無トナリ、

心痛スル事限リナシ

七月ヨリ晴天打続キ、八月十六日迄大旱ナリ、此旱ニテ田苗成長シ至極上作、農民喜悦ス、所謂作物満作世界拾一 メ本月壱石ノ直段拾七円五拾銭トナリ、此米高ニテ人民困窮ス、然ルニ外国米ヲ食スル者世界人民七分通リ有リ、 作、我々一代ノ間一度合力合ザルカノ年、然ルニ五月虫ハ俵ノヨイヲセトハ此事ナリ、然レトモ此年ノウンカ虫害ノ為

八月十八日少シ丑寅風吹キ出し、大津川壱丈壱尺ノ水出成レ共、別ニ農作物ニハ害ナシ、不図キ九月七日又木津川洪水 国米ノ輸入米五千万石、此為日本米直段拾七円ニ止リ不幸ノ幸ナリ

国十二分満作、我々一代二一度合フカ合ザルカノ旬気ナリ、 ニナリ其側量壱丈五尺二寸、別ニ作物ニハ何等ノ害モナシ、然ル処ひがんニ相成候テモ別段晴天ナリ、本年旬気日本全 右ニ付天皇陛下ヨリ旬気喜ビニ附キ日本全国ノ汽車賃九月

廿日ヨリ壱周間半賃ニ致サレタリ

十月二至テ晴天ニテ暖タカナリ、申分無キ旬気ナリ

十一月ニ至テ雨天ニ候得共、米満作ニテ通常ノ年トハ壱反歩三斗ノ豊作ナリ、 農民喜フ事限ナシ

金百七拾弐円二拾銭 〃参拾弐円 / 九拾四円七拾三銭 〃参拾壱円四拾七銭 〃参拾五円 〃四拾六円○八銭 / 四拾三円五拾銭 作物売上高 此直段一本ニ付 十円かへ 二番荒茶九正味二十三貫三百十匁 此平斤直段壱石ニ付 百目ノ直段金三拾七銭 繭九貫〇七拾目 梨子五十一箱 一本ニ付 金九厘つず 長芋三千六百本 十四円五十銭 玉露荒茶九正ミ十四貫三百九十目 此直段九円 煎茶荒茶五十一貫三百九十目 米拾九石〇五升 一箱二付 金六拾八銭八厘 作物相場 金九円 〃弐十二円八拾銭 金四拾円 俵ニ付三円六十五銭 同二十五玉 粉粕拾一俵代 糞元相場

| 合計拾九石弐斗 | 里 | 合計 メ金四百九拾七円九拾参銭七厘 |
|-------------------|--------------------------|-------------------|
| 并长孛钉三十 手作米拾七石九斗 | 白麦二斗 一石ノ直段七円五十銭 | 一〃壱円五拾銭 |
| | 大豆一斗八升 直段一升二付九銭 | 一〃壱円六拾二銭 |
| | 一升二付 金壱銭五厘ムカゴ壱石一斗 | 一〃壱円六拾銭 |
| メ七拾壱円也 | 一玉二付 金拾五銭 西瓜八十玉 | 一〃拾弐円拾六銭 |
| 八円〇三銭 | 一荷二付(金五十七銭九厘五毛)サツマ芋四十五荷代 | 一〃弐拾六円〇七銭七厘 |

明治三十二年一月寒気強クシテ雨少シ

二月ニ至テモ寒季ハ強シ、然レトモ一月二月モ壱度トモ雪降ラズ、不図キ同月二十四日暴風吹キ、木津川壱丈壱尺ノ供((雲))

四月通常ノ旬季 三月一日大雨降リ又木津川壱丈壱尺ノ大水トナリ、又三月七日午前十時大地震ユリ、然レトモ人家ニハ別段ノ害モナシ、 水トナリ

五月雨少シ風多シ、六月ニ至テ通常之旬季

ズ、同月廿二日又丑寅風吹キ大津川大水ニテ壱丈二尺ノ水出ナリ(*) 七月四日ヨリ大東風吹キ農作多分ノ破損致シ、此時ニ至テ阿波国徳嶋大水大破ニテ人家深沈シ人民ノ流失スル者数知レ

西三年塞 庚子ノ年

「明治三十三年

八月善キ旬季

大津川大水トナリ其側量壱丈二尺ナリ、此月八分ノ雨ナリ(※) 九月七日午前九時丑寅風吹キ午後一時戌亥風吹キ人家屋根破損致シ、尤モ田苗ノ花咲リニ付大ニ損害ナリ、此風ノ為メ

此不旬季ノ為メ米追々高直ニテ、十一月米秋ニハ拾三円迄ニナリタリ(産る) ナリ、横死スル者千六百人、此見舞トシテ天皇陛下ヨリ救助義捐御下ゲ相成タリ、甚タナゲクニ堪ユなし 十月五日ヨリ大雨フリ木津川大水其側量壱丈八尺、銘々堤坊之水番致シ、此時讃賀国静岡大風大水ニテ人家破損七ケ村(®)

| | <u> </u> |
|-------------|---|
| 〃四拾三円九拾壱銭六厘 | 工拾六円六拾八銭四拾三円九拾壱銭六厘 |
| 五十銭かへ | 五十銭かへ 工・選三百目 下露九五掛ケ正ミ二十一貫三百目 |
| | 金七拾円 油粕百玉 |
| | 金七拾円 |

三月至テ通常ノ旬季ナリ、四月ハ雨多シ(**) 明治三十三年一月寒季厳敷十五、六、七三ケ間木津川氷流レ、又廿五、六、七氷流レ、然ルニ雪三度降リ昨年ニ比レハ余程(ミョ) 寒気ナリ、二月ハ通常之旬気ナリ

| 一ヶ「二合二二円「1合主人 | 梨子六十箱 | 一弐円二十九銭 草 |
|--|----------------|-------------|
| 一 三 籽三 円 五 籽 釜 | 一箱二付 金五拾六銭宛 | 百六十八束代 |
| 一〃三拾壱円七拾三銭四厘 | <u> </u> | 合計金八拾円四十八銭也 |
| | 一荷二付 金八拾四銭 | |
| | 繭九貫五百拾匁 | |
| - グライン (ディア・オーダン) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1 | ○壱貫目ニ付 四円○五銭かへ | |
| 一〃八円五拾銭 | 白麦壱石代 | |
| | 大豆八斗 | |
| 一ヶプP七拊三金 | 一升二付 金八銭四厘 | |
| 一〃四円五十銭 | 西瓜 | [三十三年手作米 |
| | Ì | 壱石三斗 餅米 |
| 1 . 164 | i Î | 十七石三斗 米 |
| 一 | ムカコ | 合計拾八石六斗」 |
| 合計 金五百七拾四円八拾六銭七厘 | | |
| | | |

辛丑年

懸ケ、此因テ六月廿四日大雨フリ農民安堵ス、此雨半額ノ植附相済、不図七月五日ヨリ大雨降リ続キ木津川壱丈ノ出水 サヘモ無之、昔ヨリ老人ガ覚デカラ本年ノ旱ハ今ガ始メナリ、右ニ付セツ田ノ植附スル事無之甚タ困急スル事謂過モナ 軍ニ相成、其清国ヨリノ講和談判今ニ相分ラザル也 本年三月中旬ヨリ日本国、 候へハ矢張凶作ニテ壱反歩ハ弐石五斗平斤作ナリ、 其皆田成長ハ近年稀ナル良作ニテ農民喜事限ナシ、不図キ九月不旬ニ相成追々其田凶作ト相見ニ、十一月ノ取入ニ相成(※) ニ相成、 シ、此旱ニテ九円直段ノ米俄ニ拾三円ニ昇進シ、然ニ京都恵山ノ雨降リ祈祷相懸リ近村大住村始メ各村モ其々祈祷ヲ相 付各村ノ用水樋ヨリ水引入此レ為木津川干水トナリ、 五月二至テ晴天打続キ、六月二至テモ大二旱スル事、 ノ免合ハ無効ニ決定ス 此水ニテ植附皆済ニ相成、又七月十八日ヨリ八月十七日迄向フ三十日間晴天打続キ、 米国、 仏国、 露国、 恵国外数ヶ国聯合軍ニテ清国壱ケ国ヲ相手ニテ戦争ニ相成、 故二小作人集合致シ免合ヲ申立地主へ談判致ス村モアリ然レ共本年 然ルニ木津川夜ニ入テ堰止スル村モアリ、謂所人家ノ井ノ呑ミ水 植附苗枯ル、ガ如キノ大旱、農民昼夜眠ラズ田ニ水入致シ、右ニ 此旱ニテ田苗生長致シ、 謂所清国劣

| 年 作物売上高 | 作物相場 | 粪 |
|-----------|----------------------------|------------------------------|
| 金百八拾壱円 | 此直段一石ニ付 金十一円七十銭かへ米十五石五斗五升代 | 金 (空百) |
| ∞八拾弐円○六銭 | 一本ノ直段金九円かへ初茶煎茶九正味四十五貫九百目 | 金九円五拾 |
| 〃六拾四円弐拾六銭 | 一本ニ付金拾壱円かへ二番煎茶九正味三十貫二百三十目 | 百玉ニ付六十 天満油百二十 工門六十三銭五厘 |

| | | T | Г | | | | | |
|-----------|---------|----------------------|----------|----------------------------|---------------------|---------------------|-------------------------|-----------------|
| /三円六拾三銭 | 〃三円七拾五銭 | /七円廿七銭 | 〃五円八拾四銭 | 〃 五拾円八拾銭 | 〃六拾八円 | 〃三拾七円弐十銭 | 〃四拾七円拾銭 | 〃四拾壱円 |
| 晚茶代 | 白麦五斗代 | 百目ノ直段(金三十四銭)を開き貫百四十目 | 壱升直段 金八銭 | 壱本二付 金十二円五十銭かへ 意楽九正ミ二十貫三百目 | 一本二付金十七円かへ玉露九正ミ弐十貫目 | 一荷二付 金七拾四銭四厘サツマ芋五十荷 | 一箱ニ付平斤直段 金五十四銭かへ 梨子八十八箱 | 平斤一本ニ付 金壱銭二厘長芋代 |
| 合計拾九石七斗六升 | 餅米壱石五斗 | · 拾八石弐斗六升 三十四年手作米 | | | | | | 合計金八拾二円十七銭ナリ |

サガリノ内 北三年フ

[明治参拾五年

合計 月土用ノ入始メテ晴天ニ相成、八月十七日迄三十日間大旱打続キ、不図田苗成長致シ農民大ニ喜悦ス、農民三日間旬気(寒) ヨロゴヒアリ、然レモ米価非常ニ高直ニ相成リ、九月ニ至テ壱石ニ付金拾六円迄ノ売買ナリ、十月至テ平和ノ旬季ナリ、(『)) リ大雨降リ続キ、七月十九日迄日数二十八日降リ続キ、 明三十四年一月通常ノ寒気ナリ、二月分同断、三月分モ通常ナリ、四月モ同断、(竜)) / 三円六拾九銭 金五百九拾六円拾四銭 桑葉三十六貫九百目代 此雨ノ為メ水場田所稲苗水害ヲ受ケ甚タ不景気ニナリシ処、七 五月モ通常ノ季候ナリ、六月廿六日ヨ

本年九月十二日夜本村久保竹治郎本家焼失致シ、然レモ他へ別条無之火ノ原ハ不分明ナリ 本年四月至テ聯合軍ト支那国ノ戦争講和談判相済、 十一月モ同断、十二月モ通常ノ季候ナリ、然ルニ全国作米十分ノ作ナリ 支那国ヨリ各国へ五千万円ノ罰金ヲ以テ講和ナリシト謂フ

| 一〃百拾九円五拾壱銭五厘 | 一〃百七拾壱円四拾五銭 | 一金百七拾七円四拾五銭 | 作物売上高 |
|--------------------------|-----------------------------------|----------------------|-------|
| 壱本二付 金拾参円 煎茶荒茶四十九貫八百三十五目 | · 一定本二付 金拾七円五拾銭 荒茶 玉露九正味四十八貫八百目 | 此直段壱石二付 金拾壱円米拾六石三斗弐升 | 作物相場 |
| 六円醤油粕三十玉代 | 弐拾壱円参拾銭 | 一金四拾八円四拾銭 | 糞 元 |

一月平和気候ナレ共雪フラズ、二月至リ通常旬季ナリ、三月モ通常ナリ、四月十二日大霜大雪フリ寒季キビシキ茶桑大ニ害アリ、五月上

| 一・会 | 茶メ金参百五拾八円拾八銭五厘小、六拾七円弐拾弐銭 | 以子九十九箱半 二番煎茶三十二貫七百十目 | 合計 金八拾六円四拾弐銭五厘 大豆粕五枚 |
|--|--------------------------|----------------------|----------------------|
| √弐拾六円七拾銭 √元円五拾銭 √八円五拾銭 √元円五拾銭 √元二付 金売銭三厘かへ →ツマ芋五十二荷代 →高二付 金五拾参銭三厘 人力ご代 人力ご代 大豆弐斗四升代 | 一金六拾弐円五拾銭四厘 | 箱 | |
| √弐拾六円八拾弐銭五厘√八円五拾銭√七拾銭→売円四拾銭★豆弐斗四升代★豆弐斗四升代 | 一〃弐拾六円七拾銭 | 金壱銭三厘かへ長芋一本ニ付 | |
| ○八円五拾銭○大豆弐斗四升代○大豆弐斗四升代 | 一〃弐拾六円八拾弐銭五厘 | 五. | |
| 《七拾銭 ムカご代 人豆弐斗四升代 大豆弐斗四升代 | | 桑代金 | |
| 金六百六拾弐円弐拾六銭四厘大豆弐斗四升代大豆弐斗四升代 | 一〃七拾銭 | ムカご代 | |
| | 一〃壱円四拾銭 | 大豆弐斗四升代 | 手作米拾七石五斗 餅米壱石四斗五升 |
| | | | |

内至二割ノ示談ニ事納まりなり、 参円迄ニナリ、此凶作ニ因テ寺田村、 キ農作物破損及梨子三分通り落タリ、農民大損ナリ、八月三十日木津川大水ニテ壱丈弐尺ノ水出ナリ、作物ニハ害ナシ、九月廿二日ひか 大ニ害アリ、六月三日ヨリ大雨フリ続キ、七月廿一日土用ノ入ニテ始メテ晴天ニナリ、八月一日ヨリ大雨フリ、 旬ヨリ雨天打続キ尤モ冷気ナリ、此大雨ニテ木津川大水ニテ壱丈壱尺ノ水出ナリ、此時大和国、金剛山、六甲山及ビ其地方大雪降リ茶桑 ん入ヨリ大雨降リツヾキ、木津川ノ水出此側量壱丈壱尺ナリ、此不旬ニテ米凶作ノ見込ニテ追々高直ニナリ、(マトン) 日本全国平斤二厘ノ凶作、此凶作ニ因テ米価追々高直 富野庄村除ク外農家小作人凶作集会致シ地主へ向テ上納免合ノ談判致シ、然ルニ地主協儀ノ上壱割 十二月ニ至米価壱石ニ付拾 同月十日夜ヨリ大東風吹

辰ノ年 『明治参拾六年

| | | | | _ | 年 |
|---------------------------|---|-------------------------|------------------------------------|--------------------------|-------|
| 〃参拾四円四拾八銭 | 〃 百参拾壱円九十参銭九厘 | 〃百七拾弐円三十二銭 | 〃百七拾五円九拾四銭七厘 | 金弐百四拾八円五十壱銭 | 作物売上高 |
| 壱ヶ二付 金六十八銭九厘六毛サツマ芋大小籠〆五十荷 | 一を本二付金十三円かへ一を本二付金十三円かへ | 此直段一本ニ付金弐十円かへ玉露四十三貫○八十目 | 壱本二付 金十五円五拾銭かへ 煎茶荒茶九正味五十六貫七百七十目 | 此直段壱石ニ付 金十四円七十三銭米十六石八斗七升 | 作物相場 |
| 〃参円七十銭 | 〃九円 糞三十一荷 | 銀津醬油粕百玉 | | | 糞 |

風大雨ニテ大荒ナリ、

九月廿二日大風ニテ木津川壱丈壱尺ノ出水し、此際栃木県下及ヒ東京大募風ニテ人家ノクヅレ人

ノ即死スル事、尤モ農作物ノ破損大ナリ

| 〃四拾八円七拾八銭壱厘 | 壱箱二付 金五十三銭三厘 梨子箱数九十 | 金九十円也 |
|----------------|---------------------|--------------|
| | 長芋代 | |
| 〃参円参拾五銭 | 晚茶代 | |
| 〃 五円五拾銭 | 白麦五斗代 | |
| 一〃弐円弐十五銭 | 大坂博覧会出品代 | 并长二百二十三十六石三斗 |
| 一〃壱円七十七銭 | 大豆弐斗六升代 | |
| 合計 金八百六拾九円八拾四銭 | | |
| | | |

此水ニテ山城浸水田畑百五十町歩、南草内村、 七月五日ヨリ大雨降リ 明治三十六年一月通常旬気ナリ、二月ヨリ四月迄通常旬気ナリ、五月雨多シ、六月晴天ナリ] 木津川水出致シ其量側壱丈八尺ナリ、此水ニテ佐山村ヨリ下御牧村外十八ヶ村家屋浸水 青谷村山林ノ荒地謂フ忍ザルナリ

八月十九日大暴雨大雷ニテ近村へ三十斗雷ヲチ、其レ故寺田村人家焼失致シ、平川村モ之雷カ為人家焼失致シ、尤モ大 八月一日晴天ニ相成ナリ 大坂府河内国西成郡ノ浸水、北河内郡浸水、弐百五十町歩ナリ、大洪水六十年無ヒ大水ナリ

本年七八月頃ヨリ日露外交問題ニテ戦争ノ噂サ取リく~ナリ

| | | | | | | 乙巳年 」 | (貼紙Ⅲ) |
|--------------------|---------|--------------------------------------|------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|--------|
| 〃参円七拾弐銭 | 《弐拾円五拾銭 | 〃弐拾四円参拾弐銭 | 〃 五拾参円三拾六銭壱厘 | 七拾参円五拾七銭 | 〃百九拾五円七拾参銭 | 金弐百四円五拾六銭 | 農作物売上高 |
| 一升ニ付金八銭五厘かへ大豆四斗四升代 | 長芋代 | 此平斤直段壱ヶニ付 金七十五銭 サツマ芋小二十三荷大九荷半 合計三十三荷 | 此平斤直段一個二付 金四拾九銭梨子百拾一個代 | 一本二付 金拾壱円五拾銭 二番荒茶九味三十三貫四百十目 | 一本二付 金拾壱円九十六銭 初茶荒茶九正味八十三貫五百五十目 | 米拾五石二斗八升五合 此平斤直段壱石二付 金拾三円三十五銭 | 作物平斤相場 |
| 合計 〆拾八石六斗五升 | 作米 | 十三荷 | | | | | |

合計 〃弐拾円○八拾八銭六厘 金五百九拾九円九拾四銭七厘 雑収入之部 「収入分○返金分○利子分○色々⑷

日大雨ニテ木津川壱丈二尺ノ出水ナリ、又九月十七日大丑寅風吹キ出し木津川弐丈六尺ノ出水ナリ、此風ニ因テ農作物 三十七年七月十日大東風吹キ木津川出水、 其側量壱丈六尺ナリ、同月十五日大雨ニテ木津川壱丈六尺出水ナリ、 九月一

日露宣戦詔勅

大ナル害ニナリ

国トノ関係年ヲ逐て益親厚ニ赴クヲ見ル、今不幸ニシテ露国ト戦端ヲ開クニ至ル、豈ニ朕ガ志成ズヤ スベシ事態ヲ確立するハ、 和二求メ列国ト友誼ヲ篤クシテ以テ東洋ノ治安ヲ永遠ニ維持し、各国ノ権利益ヲ損傷セズシテ帝国ノ安全ヲ将来ニ保障 目的ヲ達スルニ努力すべし、凡国際條約ノ範囲ニ於テ一切手段ヲヲ尽シ遺算ナカラシムル事ヲ期セヨ、惟フニ文明ヲ平(ロタウ) ガ陸海軍ハ宜シク全力ヲ極メテ露国ト交戦ノ事ニ従フ可シ、朕ガ百僚有司ハ宜シク各其戦務ニ率ひ其権能ニ応シ国家ノ 天佑ヲ保有シ万世一系ノ皇詐ヲ践メル大日本帝国皇帝ハ忠実勇武ナル汝有衆ニ示ス、朕茲ニ露国ト対シテ戦ヲ宣ス、 朕夙二以国交ノ要義ヲ為し旦暮敢て違ハザラ事ヲ期ス、 朕ガ有司モ亦能ク朕カ意ヲ体して列

「明治三十八年五月十三日ヨリ」(年書)

御牧郷村田苗皆無ナリ、全国一般ノ大凶作ナリ、然レ共我村外嶋ハ数十年稀ナル大豊作ナリ 大雨降り続キ七月二入り土用中モ降り続キ農作物被害多シ為ニ麦取入出来難シ、 其麦畑ニ芽出甚タ損害ナリ、

「三十八年凶作実況 ^(集書)

此凶作為メ東北地方ノ凶作実ニ甚しき

宮城県下平均壱反歩ニ付壱分四厘、尤モ皆無ノ場所モ有リ

テ各県知事上京シ内務省へ□儀申、凶作ノ第一ナル宮城県ニ於テ本月ノ現況ヲ調査セル予想左ニ 福嶋県下ハ弐分八厘、 岩手県下ハ四分ノ作柄、 関東地方ニ於テハ栃木県下群馬県下ノ両県甚しき平均五分作ナリ、

則チ平年作ノ百五拾万石ニ対シ、本年ハ僅ニ拾六万石ニ過ザルナリ

成ル

三十八年九月十五日日露戦争平和談判相済、

其償金トシテ樺太嶋半分五千万円ヲ譲リ渡ニナリ、之ニ因テ平和克復済ト

日本全国軍隊モ三十八年十二月三十一日迄ニ各国へ帰宅相成、之ガ為大ニ人気ヲダヤカナリ

(貼紙Ⅲ)

明治参拾七年二月廿五日 岩田村 [伏字]殿貸附金損害之部記ス

綴喜郡都々城村字岩田[伏字]氏方へ茶代金百円貸附、 該 [伏字] 破産ニ付右金額損害ナリ、 然レ共右金ニ付示談之上金拾五円ニテ事

相済シ候也

明治参拾七年六月一日 [伏字]ニ損害之分

玉露茶九正味参拾貫○六百九拾目

ニ相定メタレ共、 代金百〇四円参拾四銭売渡役定之処右金額詐欺ノ手段ニ相掛リ、 壱度モ持参無之全ク損害之分ニ相成タリ 種々示談ニテ金八拾円之貸附ニ役定致シ、 右金員月々ニ崩シ済ノ役定

此内五円明治三十七年六月五日受取

| 此内訳 金拾拾 五十五円三十八年分 | 一 / 七拾円 |
|------------------------------|-------------|
| 壱荷二付 金五拾五銭サツマ芋六十五荷半代 | 一〃参拾五円八拾銭 |
| 一個直段 金六拾七銭 | 一〃六拾八円〇七銭五厘 |
| 一本二付 金拾弐円弐十五銭 二番荒茶九正味弐十八貫六百目 | 一〃七拾壱円拾弐銭 |
| 一本ニ付 金弐十四円かへ 玉露荒九正味弐十六貫目 | 一〃百弐拾八円弐十四銭 |
| 一本二付 金拾壱円五十銭 煎茶荒九正味五十八貫七百七十目 | 一〃百参拾五円九拾七銭 |
| 金拾弐円八十銭かへを拾弐円八十銭かへ | 一金百八拾壱円九拾九銭 |
| 作物平斤相場 | 明治三十八年作物売上高 |

| 〃七拾九円八拾七銭五厘 | 〃百五拾七円拾壱銭 | 〃百四拾八円五拾七銭五厘 | 金弐百弐拾六円参拾弐銭 | 明治三十九年作物売上高 |
|---------------------------|---|---|-------------------|-------------|
| を本ノ直段 金拾三円八十銭 二番荒茶九正味三十貫目 | 売本ノ直段 金弐十六円・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | を本ノ直段 金拾四円 を番荒茶九正味五十三貫七百目 | 此平斤直段金拾四円米十六石〇九升代 | 此平斤直段 |
| | 二口〆弐拾七石壱斗二升 | ★拾六石六斗七升一 ★拾六石六斗七升 | 宛米拾石四斗五升 | |

| 計金六百九拾八円拾六銭八厘 | 一〃壱円四拾銭 | 一〃五円五拾銭 |
|---------------|-------------------|------------|
| | 壱貫目ニ付 金五銭小芋弐十八貫目代 | 一升二付 金八銭六厘 |
| | 拾六石六斗 | 并长岩五可十八十 |

| .11. | | | | | | | |
|------------------|----------|-------------------------|-------------|---------|------|-------------------------|---|
| 此計 金七百六拾参円九拾八銭五厘 | ^ 三円七十五銭 | ′四拾五銭 | 《八拾銭 | 〃参円六十八銭 | | 〃弐拾八円 | 〃百○九円六拾四銭五厘 |
| | 大豆三斗七升五合 | コンニヤク玉代 | ムカコ | 西瓜代 | 梅六個代 | 此平斤壱荷ニ付直段 金六十六銭サツマ芋六十荷代 | 金子直段平斤一個 四十九銭七厘長十郎一個平斤直段 金六十五銭 梨子箱百九十七個 |
| | | | | | | | |

| | 78.82 | |
|------------------------|-----------------------------|-----------|
| 明治四拾年作物売上高 | 此平斤直段 | |
| 金弐百六拾七円 | 此平斤直段壱石二付 金拾五円五十銭米十七石二斗四升五合 | 宛米拾石四斗五升 |
| | 煎茶九正ミ三十八貫七百六十目 | 手作米 拾六石六斗 |
| 》 百 拾 七 尸 | 壱本ノ直段 金拾五円 | 餅米 壱石三斗 |
| 〃百九拾壱円弐拾銭 | 壱本ニ付 金参拾円 玉露九正ミ二十一貫七百九十目 | > < |
| 〃百○五円九拾銭 | 此一個平斤(金五拾銭かへ梨子弐百十一個 | |
| 九拾五円 | 一本ニ付(金三銭かへ) | |
| 〃弐拾四円弐拾銭 | 一荷ニ付 金四十七銭サツマ芋五拾二荷代 | |
| 〃拾九円弐拾銭 | 白麦七斗代麦壱石五斗 | |
| / 五円四拾銭 | 梅四個代 | |
| | | |

| | 此計 金八百五拾八円六拾七銭 |
|------------------|----------------|
| 利子金 | 〃拾円○七拾三銭 |
| 二十二貫目代 | 〃弐円弐拾弐銭 |
| 柿代 | 〃壱円三拾銭 |
| くわ葉代 | 〃参円四拾五銭 |
| 一升二付十一銭かへ大豆三斗二升代 | 〃参円五拾弐銭 |
| こんにやく玉代 | 〃弐円拾銭 |
| 牛房代 | 〃四円九拾五銭 |
| 繭壱貫二百目代 | 〃 五円五拾銭 |

八十三銭 化廿分長十郎梨 段金四十六銭 金子梨子壱個直

五円六拾銭

牛房壱三十八貫目

/ 拾六円弐拾五銭

/ 拾八円拾五銭

麦弐石

梅十四個

〃弐拾七円五拾銭

サツマ芋五十六荷

壱荷ニ付

金四十九銭二厘

九拾四円六拾九銭 〃参拾円 ∞百○九円参拾壱銭 《弐百七拾六円七拾五銭 金参百拾参円六拾四銭 明治四拾壱年売上高 此一本二付 金拾四円五十目 長十郎五十六個 玉露九正味五十一貫弐百五十目 長芋百九十四貫八百目 梨子百五拾九箱 煎茶三十六貫四百九十目 壱本直段 金弐拾七円也 此平斤壱石二付 金拾六円也 米十九石六斗八升 一金子百〇三個 此平斤直段 畑餅五斗五升 餅米壱石三斗 〆弐拾八石三斗 手作米拾六石 宛米拾石四斗五升

| 明治四拾弐年度売上高 | 此平斤直段 | |
|-------------|--------------------------------|--|
| 金弐百四捨六円五捨九銭 | 此平斤值段壱石ニ付 金捨三田二十銭米十八石六斗二升 | |
| 〃四百弐拾五円六拾五銭 | 壱本直段 金弐十六円宛 玉露茶九正ミ八拾三貫二百六十目 | |
| 〃弐拾参円九拾壱銭 | 壱本二付 金壱円五拾銭宛 煎茶九正ミ九貫百二十目 | |

| 〃六円四拾四銭 | · 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一 |
|---------------|--|
| 〃弐円八拾九銭 | 西瓜 |
| 〃弐円九拾参銭 | 桑ノ葉 |
| 〃弐円六拾四銭 | こんにやく玉代 |
| 〃拾七円 | 貸金利子及ヒ返金共 |
| 〃参円参拾六銭 | |
| 惣計 金九百弐拾五円弐拾銭 | |
| | |

| | 賴母子落札金 | 一〃百参拾壱円 |
|--------------------------|----------------------------------|-----------|
| | 金利子 | 一,七円 |
| | 桑代外二雑入 | 一〃参円 |
| | 大豆四斗 | 一〃参円 |
| | 梅五個代 | 〃弐円四拾参銭 |
| | 牛房二十九貫九百目 | 〃弐円九拾九銭 |
| | 長芋代 | 〃参拾五円弐十壱銭 |
| | 麦壱石五斗 | |
| | 売ヶ直段 金六十銭 サツマ芋四十荷 | 〃弐拾参円 |
| 四十弐円九十七銭 金子 四十弐円九十七銭 長十郎 | 長十郎一個 五拾九銭宛金子一個直段 金弐十七銭宛 | 〃七拾参円五拾八銭 |
| | 一本二付 金拾十五円五十銭 二番茶九正ミ弐十五貫七百四十目 | 〃七拾九円三拾四銭 |

明治四拾参年度農作

| | 惣計 金九百参拾六円五拾銭 |
|-----------|---------------|
| | 再計頼母子共 |
| | |
| | 計 金壱千〇六拾七円五拾銭 |
| | |
| n参年度 要 | 50多年度農作物売上高 |

| 2月4年ラード | | |
|-------------|-------------------------------|-----------------|
| 一金百九拾四円五拾銭 | 一平斤壱石二付 金拾弐円米十六石九斗三升 | |
| 一〃参百七拾四円廿五銭 | 壱本ノ直段 金弐十五円 玉露九正ミ七拾四貫八百五十目 | |
| 一〃拾九円四拾壱銭 | 壱本 金拾七円 カブセ九正ミ五貫七百目 | 三茶代金 四百九十四円二十六銭 |
| 一〃九拾五円五拾五銭 | 壱本ニ付 金拾六円かへ 弐番茶九正味参十貫○八百目 | |
| 一〃五円○五銭 | 茶屑、粉上茶、色々 | |
| 一《六拾円 | 長芋代 | |

明治四拾四年度農作物売上高

| | | | | <u> </u> | | | | | |
|--------|---------|-----------|---------------------|-----------|----------|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------|
| 〃弐円弐拾銭 | 〃四円五拾五銭 | ✓五拾八円五拾五銭 | 〃 参拾五円参拾七銭 | 〃四拾四円参拾六銭 | 〃弐拾円参拾五銭 | 金九拾七円八拾九銭 | 金参拾八円〇壱銭 | 金四百〇六円八拾八銭 | 金弐百拾六円弐拾八銭 |
| 大豆弐斗 | 梅六個 | 梨子 | 壱荷二付 金七十五銭サツマ芋四十七荷半 | · 表 | 麦弐石壱斗 | き本に付 金拾五円五十銭 ・ 金格五円五十銭 | を本二付 金拾七円 カブセ茶九正ミ拾一貫百八十目 | を本こ付 金弐十四円 玉露九正ミ八十四貫七百七十目 | 直段一石二付 金拾六円二拾銭米十三石四斗一升 |
| | | | | | | | 三茶代金 五百四十二円七十八銭 | | |

大正元年農作物

| | 金壱円七拾九銭 | 西瓜代 | |
|---|--------------------------|-------|--|
| | 七円五拾五銭 | 雑収入 | |
| | メ金九百参拾参円七拾七銭 | | |
| | 所へ金弐百八拾弐円五拾五銭 頼母 | 母子落札金 | |
| | 二口計 金壱千弐百拾六円参拾弐銭 | | |
| _ | | | |

| | 金壱円七拾九銭 | 西瓜代 | |
|---|-----------------------------------|------------------------------|----------------|
| | 〃七円五拾五銭 | 雑収入 | |
| | メ金九百参拾参円七拾七銭 | | |
| | 二口計 金壱千弐百拾六円参拾弐銭 頼丹 | · | |
| | 明治四拾五年七月三十一日迄 | | |
| 型 | ☆売上高 天皇陛下崩御ニ付、年号同八月三十一日ヨリ大正ト改名ニナリ | 日ヨリ大正ト改名ニナリ | |
| | 一金参百拾四円八拾銭 | 此平斤直段壱石二付 金拾九円〇五銭米拾六石七斗八升 | |
| | 一〃四百参拾三円四十五銭 | 一本ニ付 金二十一円かへ 九正ミ一番玉露百〇二貫目 | |
| | 一〃百○壱円九拾五銭 | 壱本直段 金拾六円 二番茶三十一貫八百八十目 | |
| | 一弐拾弐円八拾五銭 | 茶三屑粉代 | 茶惣代金五百五十八円二十五銭 |

| 金五百四拾弐円五拾銭 寺田水田溝頼母子落札金所へ金四拾八円 頼母子落札金 | | の四円拾四銭売升ニ付 金拾一銭大豆参斗六升 | 《参拾円 長芋百九十五貫目 | - 参拾七円五拾銭 - 壱ヶ直段金六拾七銭 - サツマ芋五十六荷 | | 一弐拾五円七拾五銭 麦弐石代 |
|--------------------------------------|--|---|---------------|----------------------------------|--------------------|--------------------------------|
| | | 大正元年八月三十一日天皇陛下御即位 | | | | 計拾五石壱斗 計拾五石壱斗 |

大正弐年農作売上高

| | _ | _ | | <u> </u> | _ | _ | _ | _ | 作う一品 |
|----------|-----------|--------------|---------|----------------------------|-----------|-------------|---------------------------------|--------------------------|------|
| 〃参拾参円七拾銭 | 〃参円六拾銭 | 〃 参拾六円七拾三銭 | 〃拾三円○六銭 | 五拾七円五拾五銭 | 〃弐拾四円九拾弐銭 | 一番撰屑四拾五円十七銭 | 〃四百○六円三十一銭 | 金参百六拾六円六拾五銭 | |
| 梨子八十壱個代 | 大豆三斗十二銭かへ | 壱貫目ニ付 金十七銭かへ | 梅十三個 | 壱荷直段 金九十七銭サツマ芋六十壱荷 | 麦式石壱斗二升 | 荒茶九正ミ十七円かへ | を本ニ付 金三十一円かへ 提玉露九正ミ六拾五貫弐百六十目 | · 老石二付 金弐十壱円二十銭 米拾七石弐斗八升 | |
| | | | | 計拾八石 | 新米壱石弐斗 | 大正二年分 | | | |

大正参年度農佐

一 / 五 円

雑収入

| | 計 金壱千〇七拾七円六拾八銭 | | |
|---|--------------------------------|------------------------|--|
| | 二口計 金壱千五百七拾弐円七拾三銭所へ 金四百九拾五円五拾銭 | 少人 | |
| 作 | 秦作売上高 | | |
| | 一金参百弐拾参円七十一銭 | 米拾九石壱斗五升 拾七円弱当 | |
| | 一金四百拾参円参拾四銭 | 玉露茶九正ミ八十壱貫六百拾匁 (#M) | |
| | 一金六十六円〇九拾銭六厘 | 十八円かへ二番茶九正味拾八貫三百六十匁 | |
| | 一金拾参円五拾銭 | 麦弐石代金 | |
| | 一金四拾参円拾参銭 | 長芋百八十七貫七百匁 弐拾三銭当 | |
| | 一金拾六円四拾参銭五厘 | 梅拾八個 | |
| | 一金六円〇六銭五厘 | 梨子十弐個 | |
| | 一金弐円拾銭 | 大豆二斗 十銭五厘かへ | |

大正四年度農

| | 一金壱円九十九銭 | | 玉芋のつる、新聞紙、牛房、こんにやく | |
|----|------------------|----------------------|--------------------|--|
| | 一金四円四十銭 | | 牛蒡三十八貫 | |
| | 此処へ 八百九拾壱円五拾七銭六厘 | 1銭六厘 | | |
| | 一金九拾六円四拾銭 + | 下村勝太郎頼母子落札木村稲次郎頼母子落札 | 粮母子落札粮母子落札 | |
| | 右総計金 (著) | 郵便貯蓄取り出し | り出し | |
| 長作 | 晨作売上総高 | | | |
| | 一金壱百八十二円八十一銭 | 茈 | 拾七石二斗 | |
| | 一金四十三円 | | 長芋大正三年度作四年度作合シテ | |
| | 一金参百七十八円八十三銭 | 哎 | 梨、茶全部 | |
| | 一金壱円拾八銭五厘 | | 芋の蔓る | |
| | 一金八円七十銭 | | 麦壱石三斗 | |
| | 一金壱円九十五銭 | | 牛蒡 | |
| | | | | |

科分)の助成を受けた。

《付記》本史料の掲載にあたっては、所蔵者である木村 正昭氏・淑子氏、城陽市歴史民俗資料館の平 文氏に大変お世話になった。 但シ本年ハ天皇陛下御即位大典ニ付国内万歳ノ際愈高シ、拾一月七日ヨリ廿七日迄京都ニ居します 大正参年は老衰、四年八月十四日死亡乃始末ニ付キ路途ニ迷い帳面明カニ非ズ

てお礼申し上げる。なお本稿作成に当たり、平成十八年度私立大学経常経費補助高度化推進特別経費大学院重点特別経費

(研究

| | 一金弐円八十八銭五厘一金弐円八十八銭五厘一金弐十五円六十五銭 |
|-------|--------------------------------|
| | 五厘 |
| 支那糟の袋 | 巻 つま芋 さつま芋 |
| | |
| | |
| | |